

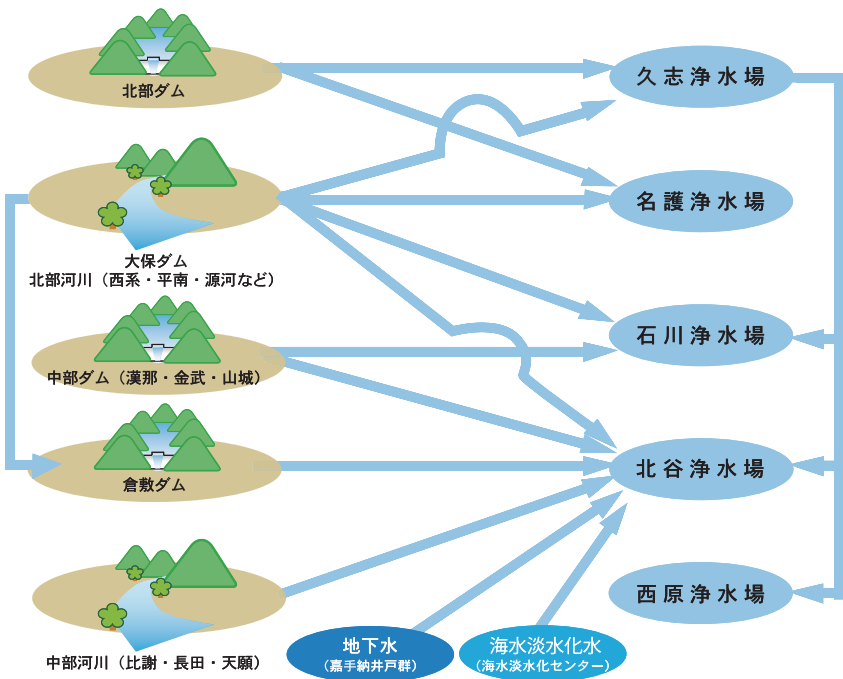
水源からみなさまのまちへ

沖縄本島の水源は、主に北部と中部のダムや河川となっていますが、南北に細長い地形のため、これらの水源と主な消費地である中部や南部は、距離が離れています。

沖縄本島で利用されている水道水の多くは、長い水道管を通り、いくつもの施設を巡って、消費地に届いています。

企業局では、水源地域のみなさまのご協力により、ダムや河川から貴重な水を取水し、浄水場できれいにしたあと、市町村等を経由して、水道水として多くのみなさまのもとに届けています。

水源から浄水場へ



Topics

延べ1130日間もの給水制限

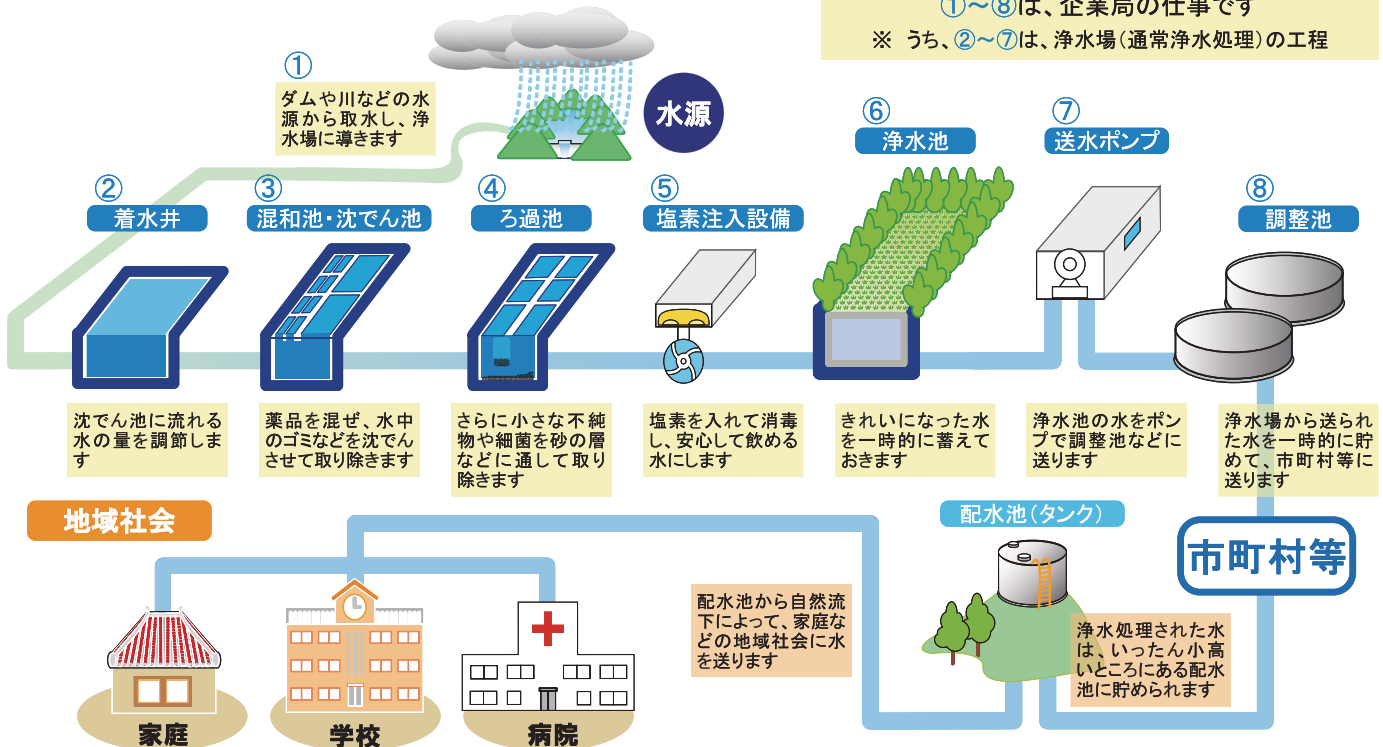
水源に恵まれない沖縄県は、かつて、毎年のように渇水に見舞われ、昭和47年から平成6年までの間には、延べ1130日間もの給水制限がありました。

現在、私たちは水道の蛇口を回すだけで、いつでもきれいな水を自由に使うことができます。

しかしそれは、これまでの多くの先人たちの絶え間ない努力と、多くの人々の協力の賜物であるということを忘れてはいけません。

水は限りある貴重な資源です。大切に使いましょう。

浄水場からみなさまのまちへ



①～⑧は、企業局の仕事です
※ うち、②～⑦は、浄水場(通常浄水処理)の工程